

# お茶壺道中(甲州街道) 第15回 南烏山りんれい公園～皇居(江戸城)

- ・開催日 2015年9月16日(水)
- ・コース 南烏山りんれい公園～玉川上水公園～和田堀場所(トイレ)～半蔵門牛窪地蔵～初台正春寺～新宿御苑(昼食・トイレ)～皇居(江戸城)～井伊直弼上屋敷跡(加藤清正屋敷跡)～皇居(江戸城)

- ・距離 約19km
- ・解散 皇居 15:00頃
- ・担当 和田宏 阿部哲郎

## 新宿御苑

内藤清成が徳川家康の関東に移封された慶長14年(1590年)に江戸に先陣で入り甲州街道と鎌倉街道の交差付近に陣を築いて守り固めた、その功により四谷から代々木にかけて20万坪の広い屋敷地を賜った。それゆえ内藤新宿と呼ばれている。内藤家は鎌倉時代からの武士でこの家は三河内藤家といわれています。高遠藩内藤家は清成から7代の内藤清枚(キヨカズ)が初代藩主です。維新後の明治5年(1872年)には官営農業試験場になり明治12年に宮内省に移管され新宿植物御苑になりました。日本庭園の池は内藤家が安永元年(1772年)に玉川上水の水を利用して完成したものです。戦後は昭和24年に国民公園として一般に開放され厚生省の所管となりました。昭和46年に全国の国立公園などを所管する環境庁の所管に移りました。

## 玉川上水

承応2年4月(1653年)に着工、11月には多摩川の羽村取水堰から四谷大木戸迄43キロが8ヶ月で玉川上水として完成しました。翌年の承応3年6月には江戸中の赤坂、芝、虎ノ門一帯に給水が始まりました。工事奉行は川越藩松平伊豆守信綱が、工事を請負ったのは庄右衛門清右衛門兄弟で後に工事の功績により玉川姓を許されました。

そして兄弟は玉川上水役を命じられました。費用は公儀から6000両が拠出されましたが羽村から四谷大木戸までの標高差が100mしかなかった為困難を極め高井戸まで掘ったところで工事費が底をつき自宅土地を売って費用に充てたそうです。玉川上水は昭和40年淀橋浄水場(明治36年開始)が廃止されるまで使われていました、現在の東京都庁などが在るビル街です。今は山口貯水地(狭山湖)等に送られて東京都下多摩地方の上水として利用されています。



## 和田堀場所

大正12年の関東大震災で築地本願寺が全焼し再建にあたって多数の墓地を移転する必要から陸軍省の火薬庫跡地の約1万1千坪を払い下げて貰い昭和4年に墓地をここに移転し仮本堂が和田堀場所として設立されました。瓦葺きの木造作りの本堂も昭和5月25日の大空襲で焼失し昭和29年にインド仏教式の新本堂が再建されました。樋口一葉 水谷八重子 古賀政男 古賀政男 内田吐夢等のお墓があります



## 正春寺(初台)

老中土井利勝の弟の妻は徳川2代将軍秀忠の乳母となり初台の局と称した。その功により天正19年(1591年)にここ代々木村に200石の知行地を賜った。それにより「初台」の地名がいまも残っている老後は代々木ですごした。娘も3代将軍家光の乳母となり梅園局と称したしかし母の死後髪を剃り法名を「正春院釈尼清安」と称して母と同じ代々木に隠居しこの寺の開基となった。慶安4年(1651年)に没した。「正春寺」はこの正春院からつけられたものと言われている。